

蛭ヶ岳

期 日： 2023年3月29日(水)～30日(木) 天候：晴・曇

コース： 1日目： 焼山登山口 8:15→10:15 焼山→10:55 平丸分岐→11:35 黍殻山避難小屋→12:20 姫次→昼食後出発 12:40→13:00 地蔵平→14:15 蛭ヶ岳 蛭ヶ岳山荘泊
2日目： 蛭ヶ岳山荘 6:35→8:00 臼ヶ岳→9:05 金山谷乗越→10:05 檜洞丸→10:30 石棚山分岐→11:20 展望園地→昼食後出発 11:35→12:10 ゴーラ沢出合→12:50 ツツジ新道入口→13:00 西丹沢ビジターセンター

参加者： TA (単独)

丹沢主脈の北端である焼山登山口から蛭ヶ岳まで縦走し、檜洞丸経由で西丹沢ビジターセンターに下山した。



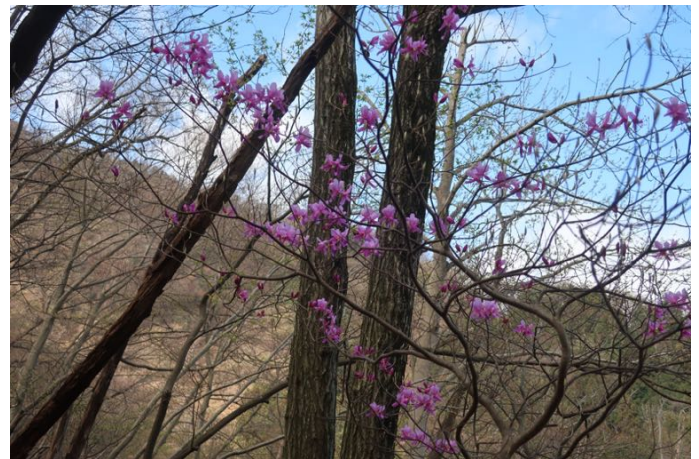
焼山登山口バス停向かいの諏訪神社境内で身支度を整え、まずは中央に見える焼山を目指して出発した



林道から分岐する登山口
ヤマビルの出ないこの時期までに
ここは通りたい



初めはこんな穏やかな道



大好きなミツバツツジが咲き始めている



焼山の頂上へ行く急登の道への分岐
巻道の方は東海自然歩道になっている



焼山山頂の展望檜
現在は故障中で登れない



焼山山頂
ここまで標高差 770m を登って来た



さらに縦走して平丸分岐地点へ
バスで平丸まで来ればここに出て来れる



黍殻避難小屋
奥にトイレの屋根も見える



少し手前の水場への分岐
蛭ヶ岳山荘の小屋番さんに聞いたのだが
この水場は枯れないのだそうだ



東京都高尾山から大阪府箕面市まで続く
東海自然歩道の最高地点
ここに来るともうすぐ姫次



長い木道を通して姫次に到着
お天気も良く、ゆっくり昼食休憩



地蔵平
ここから山深く入っていく感じ

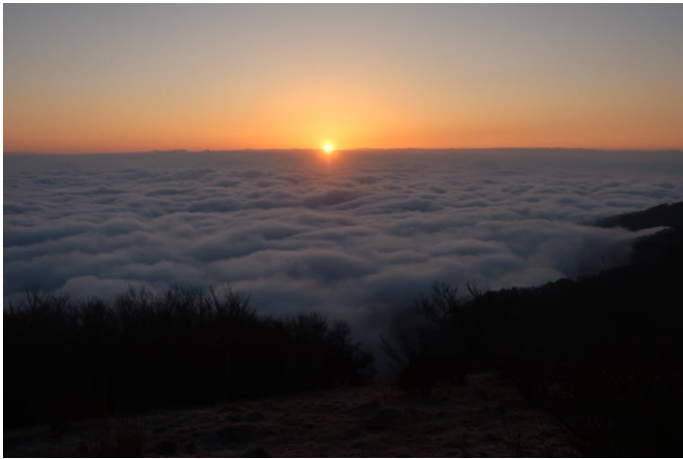


最後の急登を登り切ると蛭ヶ岳山頂へ
ガスってきた



蛭ヶ岳山頂に到着
雲の中で展望はない

蛭ヶ岳山荘に着いて宿泊手続きをする
到着 1 時間後には霰も降った
冷え込みも強く明け方の気温は 0°C
風があったので雲が晴れて
東方の夜景が見えた時もあった
本日宿泊者は 6 名、楽しく談笑した



翌朝 山荘前から見るご来光
東方は全て雲海の下



朝日に染まる富士山と
これから目指す檜洞丸



朝食後、お世話になった蛭ヶ岳山荘に
別れを告げて出発



日も高くなり気温も上がってきた
しかし下りの木道は霜が凍っていて緊張した



臼ヶ岳に到着
登山道補修工事の作業小屋ができていた
感謝



金山谷乗越の手前のトラバース道には
仮設足場が設置されていて安心だった



急登を登り、ようやく青ヶ岳山荘が見えて来た
山頂はもうすぐだ



檜洞丸の山頂に到着
まだお昼には早いので、下山開始



長い下りを小一時間、ようやく展望園地に到着
ここで昼食休憩



ゴウラ沢出合に到着
本流の東沢に支流のゴウラ沢が出合う所
一昨日の降雨の影響による増水は大したことないようだ



ツツジ新道のミツマタの群生は健在
ただし最盛期は過ぎていて、花がかなり白くなってきている



ツツジ新道登山道に到着



西丹沢ビジターセンターに到着
午後一のバスまで1時間半ほどあり、
陽だまりの中まったりと休んでバスを待った。
以上